

原 強 プ 第 3 4 号  
平成 2 5 年 3 月 4 日

島 根 県 知 事 溝 口 善 兵 衛 様

中国電力株式会社  
取締役副社長  
原子力強化プロジェクト長  
清 水 希 茂

島根原子力発電所における保守管理の不備等に関する  
再発防止対策の進捗状況について（報告）

平成 2 5 年 2 月 1 8 日に開催された、第 8 回原子力安全文化有識者会議の議事概要  
について、平成 2 2 年 3 月 3 0 日付け消防第 2 7 3 8 号および平成 2 2 年 1 0 月 1 9  
日付け消防第 1 0 5 4 号の申し入れに基づき、添付資料のとおりご報告いたします。

添付資料

第 8 回原子力安全文化有識者会議の議事概要について

以 上



## 第8回原子力安全文化有識者会議の議事概要について

- 開催日時 平成25年2月18日(月) 14時00分～17時10分
- 開催場所 ホテル白鳥 3階鳳凰の間(島根県松江市千鳥町20)
- 出席者 (地元委員) 浅沼委員, 石原委員, 亀城委員, 曾我部委員, 前田委員, 三好委員  
(一般委員) 宇於崎委員, 増田委員  
※樋口委員, 首藤委員は欠席  
(社内委員) 清水原子力強化プロジェクト長, 松井副社長, 古林常務

### ○ 議事概要

#### 1. 出席委員の確認

事務局より参加委員を確認。

#### 2. 開催挨拶(清水)

- ・ 今回で原子力安全文化有識者会議は8回目を迎えるが、その間、私どもは、委員の皆さまの貴重な各視点からのご意見を加えながら、再発防止対策について、懸命に取り組んできた。
- ・ 安全文化醸成に対する意識も相当変わってきたと感じている。これを風化させないように次世代に受け継いでいける活動を継続していくことが重要と考えている。
- ・ 本日は、これまでの3年間の取り組みを総括したご説明をさせていただき、それを踏まえた平成25年度の安全文化醸成活動の取り組みを説明する。
- ・ また、福島第一原子力発電所事故を踏まえた島根原子力発電所の対応状況他についても情報提供する。
- ・ 本日も忌憚のないご意見・ご提言をいただきたい。

### 3. 議事

資料に基づき、電源事業本部部長 小原および原子力強化プロジェクト部長 大元から「点検不備に係る現在までの取り組み状況・評価について」および「H24年度原子力安全文化醸成活動の実施状況・評価・次年度計画について」を説明し、電源事業本部専任部長 北野から「福島第一原子力発電所事故を踏まえた島根原子力発電所の対応状況他について」情報提供した。

主な意見は、以下のとおり。

#### (1) 点検不備に係る現在までの取り組み状況・評価について

- ・3年間をみても積極的に取り組んでいる。アンケート結果からも、社員の安全文化醸成意識が高まっていると感じる。不具合情報などをしっかり出すことによって安全意識のみならず、今までできていなかったコミュニケーションや風通しがよくなりムードが変わってきているのではないか。
- ・社員が積極的に不具合情報を受け止めながら、それぞれの部署で改善する決意に変えていくような取り組みが重要。
- ・協力会社がEAMに不具合情報などの入力を行っているが、煩わしさのような不満がないか気配り・目配りで配慮されたい。
- ・不適合を公開することだけが目的ではないので、しっかりホームページを見ていただけるよう表現などを含めて工夫すべき。不適合と不具合がどう違うかも一般の人にはわかりにくい。中学生が見てもわかる内容・表現を基本に発信してはどうか。
- ・島根原子力館の点検不備の展示内容や安全文化の日の行事など、しっかりと努力していることをもっと社外に対してアピールするようなものにすべき。
- ・情報の発信手段として、手軽に情報を見れる携帯、スマホを使ってはどうか。

#### (2) H24年度原子力安全文化醸成活動の実施状況・評価・次年度計画について

- ・マンネリ化を防止する工夫の一例として役員との意見交換に本会議の委員や関連会社の皆さんも参加するなどを行ってみてはどうか。また、インパクト、メリハリのある活動も必要。
- ・地元出身の社員が地元行事、ボランティアに参加すると「あの人がやっている」との信頼感がでてくるので、ぜひ積極的に参加してほしい。
- ・地元自治会同様、あちこちの自治会でも積極的に広報してはどうか。

- ・見学会のあと、大人数に対して「どうだったでしょうか？」と感想を聞かれてもなかなか発言できない。グループに分けて意見を聞くなどの配慮・工夫をしてほしい。
- ・風化防止、マンネリ化防止という言葉がでるが、社員に「後ろ向き」とか、「やらされ感」と捉えられる恐れもあるかと思うので、前へ前へという思いがにじみ出るような取り組みをされたい。また、現場の当事者にも計画づくりから参画させ、実践したらよいのではないか。
- ・地元行事などへの参加は、所内での仕事とのバランスも考え、社員が喜んで参加して地元の方々の意見をお聞きできるようになればよい。
- ・学生や先生に発電所の見学などに来てもらい、正しい知識を理解し、情報発信してもらう取り組みも重要。
- ・社員家族を対象とした見学会を行ってはどうか。自分の子供に仕事をしているところを見てもらうことで社員のモチベーションも上がる。

### **(3) 福島第一原子力発電所事故を踏まえた島根原子力発電所の対応状況他について**

「深層防護」や「新安全基準（案）」に関する質疑を行った。

#### **4. 閉会あいさつ（清水）**

活発な議論に対して感謝の意を述べた。

以上